

令和6年度「博物館実習」履修希望者 各位

**博物館実習履修希望者に対する
「博物館実習初回ガイダンス」開催のお知らせと
「同ガイダンス資料」の配付について**

令和6年度に館務実習への参加を希望する学生に対し、「博物館実習事前事後指導」の初回授業（4月12日（金）、1限・2限、文系6番教室、対面形式で実施、函館キャンパスへは遠隔配信）において、ガイダンスを実施します。

館務実習への参加希望者は、ELMSグループから配付される「初回ガイダンス資料」を熟読の上、**必ず**出席してください。資料はガイダンスにご持参ください。

2学期に実習を履修予定の方も、1学期の履修計画出席できない場合以外は出席してください。

記

資料配布実施方法：ELMSグループからの資料配付

（同時に大学枠施設抽選結果も記載しています）

資料配付開始日：令和6年3月15日（金）

対象者：令和6年度「博物館実習」を履修予定の全ての者

（実習参加希望者向け Google フォーム登録済の者に限る）

内 容：館務実習参加に際しての注意事項の説明

その他：令和6年4月に他大学から本学大学院に進学する学生で、令和6年度「博物館実習」の履修を希望する者は、必ず令和6年4月10日（水）までに下記へ申し出ること。

お問い合わせ先：文学事務部教務担当（電話：011-706-3005）

（Email: lkyom@let.hokudai.ac.jp）

令和6年3月15日

「学芸員」資格取得ガイダンスの 開催について

標記ガイダンスを下記のとおり開催しますので、該当する学生は
必ず参加してください。

対象者：令和6年度から新たに「学芸員」資格の
取得を希望する者。

開催方法：オンラインでの資料掲載による開催
以下の URL もしくは QR コードから、
説明資料をダウンロードしてください。
※スライド資料の音声は Google ドライブ上で
は聞けません。

URL：

<https://drive.google.com/drive/folders/1bwaxy2jl3bdvrjkg0ebfMcSZXvCoSd7w?usp=sharing>

QR コード：



内 容：学芸員とは？
学芸員資格の取得方法について
入学年度別カリキュラムの違いについて
授業の履修方法について

【お問い合わせ先】 文学部教務担当（TEL：011-706-3005）

令和6年3月19日

専門横断科目

本学では、学部2年次以上の学生が、「より多様で幅広い教養を獲得すること」、「学際的な教養を獲得すること」及び「専門性を追究する上で必要とされる新たな知識や手法を身につけること」を目的として、専門横断科目を開講しています。

対 象

令和6年4月1日時点で**学部2年次以上**の学生

開講授業科目

専門横断科目は、「人文社会科学」、「自然科学・応用科学」、「複合領域」、「海外留学」の4つの授業科目を開講します。

それぞれの授業科目の講義題目は、「Hokkaidoサマー・インスティテュート（HSI）」、「実践英語（新渡戸カレッジ）」、「データサイエンス・AI」、「サイバーセキュリティ」、「海外留学プログラム」に分類される授業で構成されます。

区 分	授業科目	講義題目	単 位
一般科目	人文社会科学	Hokkaidoサマー・インスティテュート (HSI)	1又は2
	自然科学・応用科学		
	複合領域	実践英語（新渡戸カレッジ）	
		データサイエンス・AI	
		サイバーセキュリティ	
海外留学	海外留学プログラム		

履修条件

履修条件は、科目ごとに異なります。詳細は、令和6年3月に公開されるシラバス等でご確認ください。

複数履修可

それぞれの授業科目は複数内容の授業（講義題目）で開講されるものであり、当該授業科目を複数履修することができます。

卒業要件単位数

各学部の規定により卒業要件単位数に算入することができる場合があります。詳細は、所属する学部の教務担当窓口で確認してください。

【問い合わせ先】

- [Hokkaidoサマー・インスティテュートについて](#)
国際交流課共同教育担当（011-706-8146）
- [実践英語（新渡戸カレッジ）について](#)
新渡戸カレッジ推進事務室（011-706-5135）
- [海外留学プログラムについて](#)
国際交流課派遣担当（011-706-8050）
- [データサイエンス・AIについて](#)
大学院教育改革推進室 大学院教育改革担当（011-706-4401）

- [サイバーセキュリティについて](#)
情報企画課総務企画担当（011-706-2923）
- [卒業要件単位へ算入等の取扱いについて](#)
各学部の教務担当窓口
- [専門横断科目全般について](#)
教育推進課全学教育・総合教育担当（011-706-5546）

北海道大学
専門横断科目履修案内ページ



学 生 各 位

博物館実習ガイダンスの開催について

標記ガイダンスについて、オンラインで実施することとしました。下記の通り行いますので、参加希望者は必ず確認してください。

対象者：令和6年度に「博物館実習」の履修を希望する者

内 容：館務実習施設の選び方について

館務実習を行うまでの手続きについて

館務実習を行うにあたっての注意事項 など

※本ガイダンスで指定される手続きを行わなかった場合、
令和6年度の「博物館実習」履修は認めません。

※過去に本ガイダンスへ出席した場合でも、令和6年度に
「博物館実習」の履修を希望する場合、必ず出席すること。

実施方法：下記のURLで1月22日（月）から資料を配付します。資料を確認し、必要な手続きを行ってください。

資料配付URL・QRコード：

https://drive.google.com/drive/folders/1Io37_iAW4MyFnI4ftexJkxo2-uNvTtcy?usp=drive_link



【お問い合わせ先】

文学事務部教務担当

TEL：011-706-3005

E-mail：lkyom@let.hokudai.ac.jp

令和5年12月19日

実践教育プログラムの参加募集について (学部学生向け)

数理・データサイエンス教育研究センター

数理・データサイエンス教育研究センターでは、文系・理系を問わず、様々なデータを適切に扱うことができる数理・データサイエンスに関する素養（数学、データ分析等）や、各自が習得する専門分野においてデータを扱う実践的な力を養う教育に取り組んでおります。

1 プログラムの概要

当センターが提供する実践教育プログラムでは、学問分野を問わず、全学部からの学部学生を対象にしています。卒業論文やその他の研究活動において必要となるデータ解析の技法等（情報科学・数学・統計学に係る話題も可）について、個別指導を行います。

個別指導では、エントリーした学生の研究テーマ・内容・レベルを審査し、数理・データサイエンスに特化した学内の教員とマッチングさせ、指導を行います。プログラム終了時には、最終レポート（別添様式）を提出してもらいます。

2 実施形態

- 数理・データサイエンスを専門とする教員の紹介
- 対面もしくはオンラインでの直接指導(約1時間ずつ3回ほど行います)
- 電子メール等による指導（5回程度）
- 必要に応じて、e-Learning 教材やセミナー等の紹介
- 最終レポート（別添様式）の提出

3 募集対象およびエントリーの方法

実践教育プログラムは、文理を問わず、全学部からの学部学生を対象にしています。希望する学生は、以下の Google フォームよりエントリーしてください。エントリー受付は令和 5 年 8 月末まで行います。エントリー期限の終了後、指導等の実施方法について案内いたします。

<https://forms.gle/bH4GEZhsYsQ5igkR8>



過去に受講した学生のテーマや感想を下記 Web ページより参照できます。

<https://www.mdsc.hokudai.ac.jp/curriculum/pbl/>

4 必要な消耗品等の支給について

学生が当プログラムに参加するために必要な消耗品等を、学生 1 人につき 10 万円を上限として当センターの事業費で負担いたします。当該学生の指導教員を通じて必要な消耗品等をご連絡いただき、当センターで購入手続きを行います。

詳細については、エントリー審査後、個別にご案内いたします。

(本件担当)

学務部 学務企画課大学院教育改革推進室

数理・データサイエンス教育研究センター担当 (渡辺)

011-706-2171

mdsc@academic.hokudai.ac.jp

Circumpolar Studies Online Course

夏期募集要項

概要

Circumpolar Studies Online Course とは、The University of the Arctic (UArctic) のメンバー大学が、オンライン教育システムにより提供する北極域に関する学部レベルのオンライン授業です。

開講科目 (Summer Semester: June 19 – July 28, 2023)

コース	内容・コース提供大学	受講条件
CS 100	Introduction to the Circumpolar World Hosted by Trent University	
GEOG 2811H	* Registration Form に欄がありますが、選択できません。	

対象

全学部・大学院に所属する正規学生（休学者を除く）

※講義に意欲的に取り組み、修了する意思のある者

コース内容

教材の読解・課題の提出・コース専用ウェブサイト内の掲示板を利用することによる教員や受講生とのディスカッション・試験等。

(週ごとにオンライン掲示板上で資料や課題が提示され、レポート等を提出し、受講生共有の掲示板上でディスカッションに参加する形式で行われている。現地時間に合わせて課題を提出する必要があるが、現地時間で行われる授業に毎回オンラインで出席するような形式ではない。)

受講料

無料

使用言語

講義を理解し、ディスカッションに参加できる英語力が必要です。

英語 ※英語力を証明する書類提出要

英語力については本学の交換留学に対応するレベルを目安と考えています。

(TOEIC 730 以上、TOEFL iBT 70 以上、IELTS 5.5 以上に相当する英語力)

受講に必要な環境

インターネットに接続でき、ウェブサイトの閲覧が可能な環境

申込

提出書類等 (必須)	<p>1. Online Course Registration Form (登録フォーム) 必要事項を英語で記入してください。 "STUDENT SIGNATURE (Required)" 欄に署名 (自筆によるサイン) 及び "Date" 欄に記載したものを PDF ファイルにし、一式 (3 枚全て) をメールで送付してください。(印刷しても文字が判別できる解像度のファイルにして送付してください。)</p> <p>なお、3 枚目 "HOME INSTITUTION PERMISSION --- FOR INTERNAL USE ONLY" の欄は国際連携課で記入しますので、何も記入せずご提出ください。</p> <p>2. 英語力を証明する書類のコピー (TOEIC、TOEFL、IELTS など)</p> <p>3. 上記書類の提出時には、①氏名 (漢字) ②所属・学年 ③学生番号 をメール本文に記載してください。</p>
送付先	global@oia.hokudai.ac.jp (岩崎宛)
提出期限	2023 年 6 月 2 日 (金) 17:00 まで

受講についての留意事項

コース定員	コースには定員があります。コースの申込人数により、受講できない場合がありますのでご了承ください。
成績証明書	修了者には、成績証明書が発行されます。
単位	本コースで取得した単位は、本学の単位として認定されません。
受講の継続	登録したコースの専用ウェブサイトにて一定期間ログインしなかった場合、受講が継続できなくなることがあります。 やむを得ず中断する場合は、コース担当教員の承認を得てください。また、速やかに下記の国際連携課宛てに連絡願います。
ウェブサイト	【Circumpolar Studies の概要】 https://education.uarctic.org/studies/circumpolar-studies/ 【CS 100 コース概要】 https://members.uarctic.org/participate/circumpolar-studies/course-materials/
担当連絡先	担当者：国際部 国際連携課 国際連携担当 岩崎 電 話：011-706-4409 (内線 4409) Eメール：global@oia.hokudai.ac.jp

令和5年度「博物館実習」履修希望者 各位

**博物館実習履修希望者に対する
「実習直前ガイダンス」開催のお知らせと
「同ガイダンス資料」の配付について**

令和5年度に館務実習への参加を希望する学生に対し、「博物館実習事前事後指導」の初回授業（4月14日（金）、1限・2限、文系6番教室、対面形式で実施、函館キャンパスへは遠隔配信）において、「実習直前ガイダンス」を実施します。

館務実習への参加希望者は、ELMSグループから配布される「実習直前ガイダンス資料」を熟読の上、**必ず**出席してください。

2学期に実習を履修予定の方で、1学期の履修計画上出席できない方は必ず文学事務部教務担当窓口へ申し出、書類を受け取ってください。

記

資料配布実施方法：ELMSグループからの資料配付

（同時に大学枠施設抽選結果も記載しています）

資料配付開始日：令和5年3月15日（水）

対象者：令和5年度「博物館実習」を履修予定の全ての者
（実習参加希望者向け Google フォーム登録済の者）

内 容：館務実習参加に際しての注意事項の説明

実習日誌等必要書類の配付

その他：令和5年4月に他大学から本学大学院に進学する学生で、令和5年度「博物館実習」の履修を希望する者は、必ず令和5年4月13日（木）までに下記へ申し出ること。

お問い合わせ先：文学事務部教務担当（電話：011-706-3005）

（Email: lkyom@let.hokudai.ac.jp）

令和5年3月15日

「学芸員」資格取得ガイダンスの 開催について

標記ガイダンスを下記のとおり開催しますので、該当する学生は必ず参加してください。

対象者：令和5年度から新たに「学芸員」資格の取得を希望する者。

開催方法：オンデマンドによる開催
以下の URL もしくは QR コードから、
説明資料をダウンロードしてください。

URL : https://drive.google.com/drive/folders/1Kk-k0aEMffFB8eaSGqjg0vV_yeohV-L6?usp=sharing

QR コード : 

内 容：学芸員とは？
学芸員資格の取得方法について
入学年度別カリキュラムの違いについて
授業の履修方法について

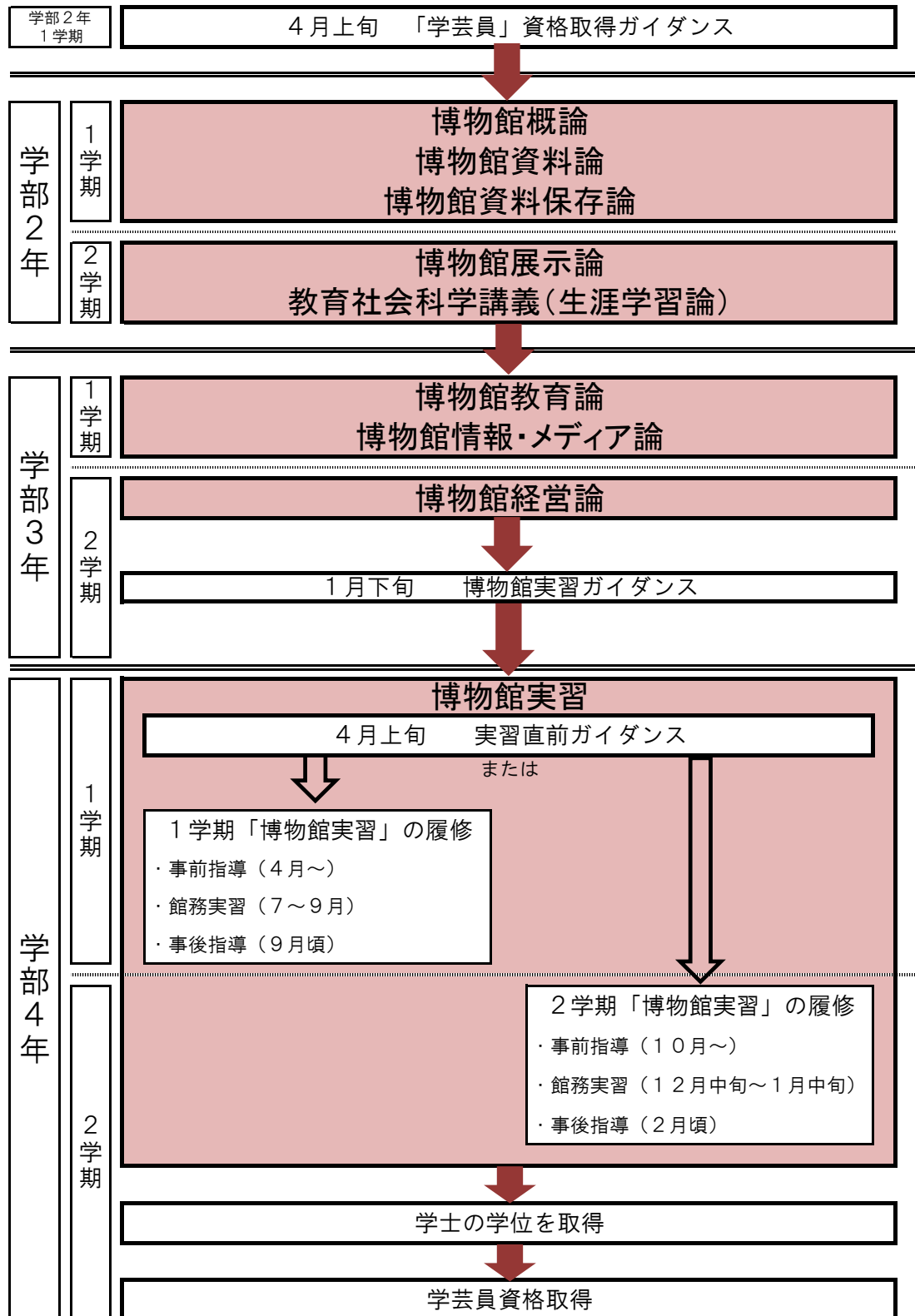
【お問い合わせ先】 文学部教務担当（TEL：011-706-3005）

令和5年3月20日

北海道大学に在学中の学生 各位

学芸員の資格取得に向けたカリキュラム・マップ

学芸員の資格取得に向け、北海道大学の学芸員資格関係の授業担当教員が推奨する履修計画は以下のとおりです。詳細な情報は必ずガイダンスで確認してください。



【資格取得にあたっての注意事項】

- 全てのガイダンスへ出席すること。
- 全ての授業科目の単位を修得すること。
- 学士の学位を取得すること。

専門横断科目

本学では、学部2年次以上の学生が、「より多様で幅広い教養を獲得すること」、「学際的な教養を獲得すること」及び「専門性を追究する上で必要とされる新たな知識や手法を身につけること」を目的として、専門横断科目を開講しています。

対 象

令和5年4月1日時点で**学部2年次以上**の学生

開講授業科目

専門横断科目は、「人文社会科学」、「自然科学・応用科学」、「複合領域」、「海外留学」の4つの授業科目を開講します。

それぞれの授業科目の講義題目は、「Hokkaidoサマー・インスティテュート（HSI）」、「実践英語（新渡戸カレッジ）」、「データサイエンス・AI」、「サイバーセキュリティ」、「海外留学プログラム」に分類される授業で構成されます。

区 分	授業科目	講義題目	単 位
一般科目	人文社会科学	Hokkaidoサマー・インスティテュート (HSI)	1又は2
	自然科学・応用科学		
	複合領域	実践英語（新渡戸カレッジ）	
		データサイエンス・AI	
		サイバーセキュリティ	
海外留学	海外留学プログラム		

履修条件

履修条件は、科目ごとに異なります。詳細は、令和5年3月に公開されるシラバス等でご確認ください。

複数履修可

それぞれの授業科目は複数内容の授業（講義題目）で開講されるものであり、当該授業科目を複数履修することができます。

卒業要件単位数

各学部の規定により卒業要件単位数に算入することができる場合があります。詳細は、所属する学部の教務担当窓口で確認してください。

【問い合わせ先】

- Hokkaidoサマー・インスティテュートについて
国際交流課共同教育担当（011-706-8146）
- 実践英語（新渡戸カレッジ）について
新渡戸カレッジ推進事務室（011-706-5135）
- 海外留学プログラムについて
国際交流課派遣担当（011-706-8050）
- データサイエンス・AIについて
大学院教育改革推進室 大学院教育改革担当（011-706-4401）

- サイバーセキュリティについて
情報企画課総務企画担当（011-706-2923）
- 卒業要件単位へ算入等の取扱いについて
各学部の教務担当窓口
- 専門横断科目全般について
教育推進課全学教育・総合教育担当（011-706-5546）

北海道大学
専門横断科目履修案内ページ



数理・データサイエンス教育プログラムの随時募集について (学部学生向け案内)

大学院教育推進機構 高等教育研修センター DX 教育連携部門

大学院教育推進機構 高等教育研修センター DX 教育連携部門では、文系・理系を問わず、様々なデータを適切に扱うことができる数理・データサイエンスに関する素養（数学、データ分析 等）を用いて、各自が習得する専門分野においてデータを扱う実践的な力を養う教育に取り組んでいます。また、データに基づくコミュニケーションにより他者との協働を可能にする展開力を有する人材育成にも取り組んでいます。

これら実践的な力および展開力の習得のために、本学の学部学生を対象に 2 つの教育プログラムを提供いたしますので、希望する学生は下記の方法でエントリー願います。

1 「実践教育プログラム」

① 「実践教育プログラム」の概要

卒業論文等の研究活動において、数理・データサイエンスのスキルを必要とする本学の学部学生を対象に、データを扱う実践的な力を養うことを目的としたプログラムです。当プログラムは、平成 29 年度から試行実施し、令和 3 年度より本格実施しています。

「実践教育プログラム」では、e-Learning・セミナー等を活用し、指導等を実施します。エントリーした研究テーマについて、DX 教育連携部門で、内容・レベルを審査した上で、テーマにマッチする適切なセミナー等をご紹介します。セミナー等で対応できない内容については、DX 教育連携部門のラーニング・サポートチームによるメンタリングを行います。さらに高度な内容については、数理・データサイエンスを専門とする教員等とマッチングし、指導を行います。プログラムの終了時には、最終レポートを提出してもらいます。エントリー内容の審査後に、レポート様式等を案内いたします。

実施にあたり、必要となる消耗品等については、DX 教育連携部門と協議の上で支給を検討いたしますので、指導等の開始後、次の連絡先へ連絡願います。

(連絡先：mdsc@academic.hokudai.ac.jp)

② 指導等の実施形態

- e-Learning 教材やセミナー等の紹介
- 教員/RA 等によるラーニング・サポート
- 数理・データサイエンスを専門とする指導者のマッチング
(1 回 1 時間の直接指導(3 回程度 ※配信用アプリケーションも利用可)、
電子メール等による指導 (5 回程度))

③ エントリー方法および実施までの流れ

エントリーは以下の Google フォームよりエントリーしてください。エントリー受付は随時（令和 5 年 2 月末まで）行います。エントリー受付は随時（令和 5 年 2 月末まで）行います。エントリー後、2 週間程度で、指導等の実施方法について案内いたします。

<https://forms.gle/jxFx6hAyy1TzqeMo8>



2 データサイエンス実践力養成プログラム「社会展開実践 DS-Design」

① 「社会展開実践 DS-Design」の概要

自身の研究成果の社会展開へのアイデアや、新しい社会のデザインに挑戦し、専門分野が異なる研究者や市民に伝えるコミュニケーション力及び展開力を習得することを目的としたプログラムです。

ワークショップやディスカッションを通じて、研究内容を他者に伝えるためのスキルやアイデアを磨き、プレゼンテーションのためのスライド資料を作成します。また、この資料を用いたプレゼンテーションの実施を予定しています。

② 指導等の実施形態

- 指導については、外部の専門家と共同開発した動画教材も使用
- プレゼンテーションの場は未定（学内関係者限定で実施することを想定）。
- プレゼンテーションのアーカイブ動画は、本事業の紹介など学内外で利用予定

③ エントリー方法

「社会展開実践 DS-Design」は、「実践教育プログラム」の参加者の中から選抜された学生を対象といたします。「社会展開実践 DS-Design」への参加を希望される方は、「実践教育プログラム」のエントリーフォームから「実践教育プログラム」へエントリーしていただき、このエントリーフォームにおいて「社会展開実践 DS-Design」への参加希望として回答して下さい。修士学生向けの内容ですが、**今年度は、学部学生のエントリーも可能です。**

(本件担当)

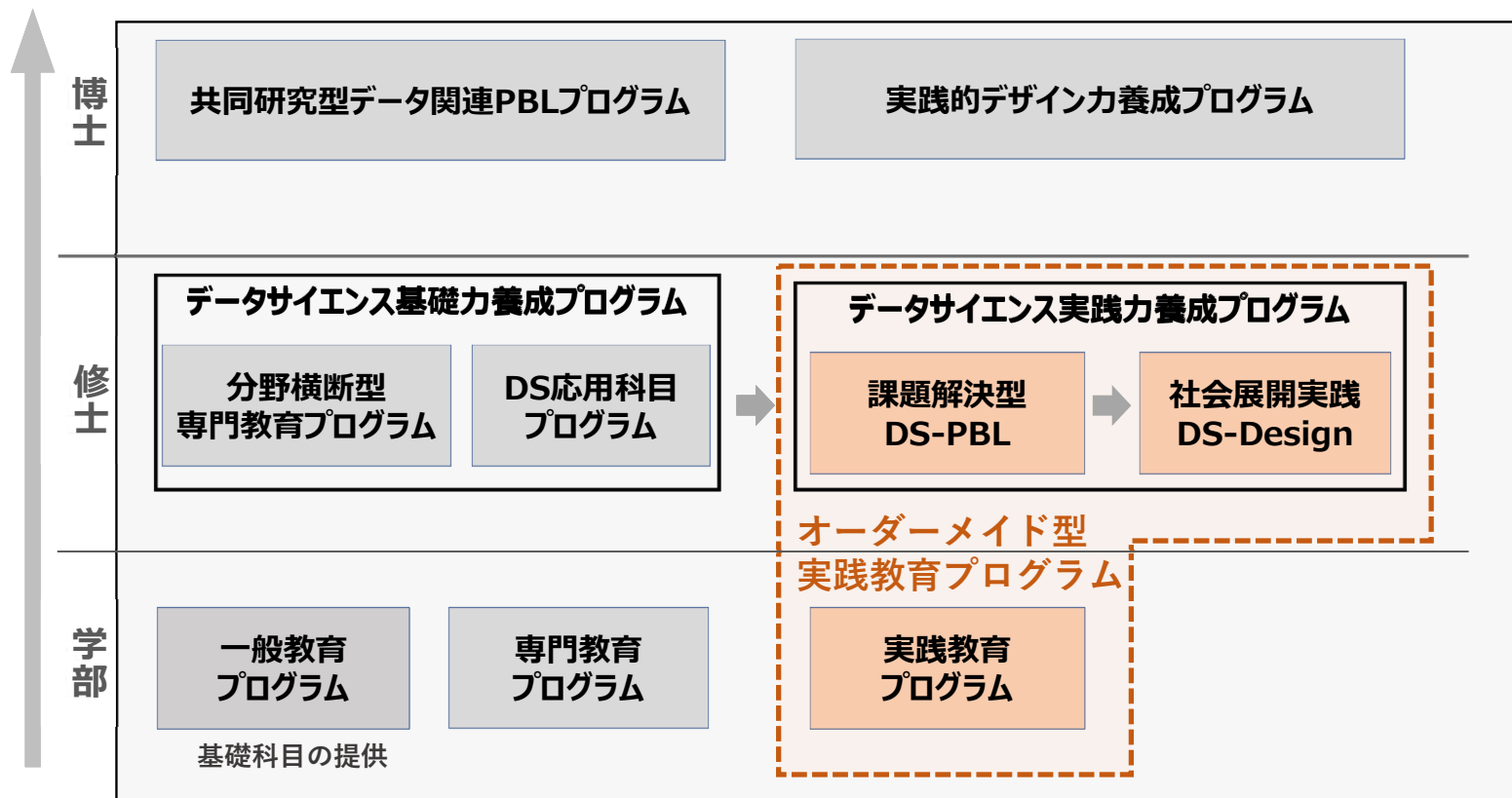
学務部 学務企画課大学院教育改革推進室 渡辺

011-706-4401

mdsc@academic.hokudai.ac.jp

数理・データサイエンス教育プログラム 概要

学部・修士・博士にとらわれないシームレスで、専門分野を超えたボーダレスな教育プログラム



英語自律学習法セミナー

—学部2年生～6年生対象—

* 学部1年生、大学院生、英語を媒介語とする教育課程に在籍する留学生、交換留学生は、対象外

自分が英語を学習する目的を明確にし、自分の責任で決定して学習を継続（＝自律学習）するための学習法を集中講義で学び、その後半年間、仲間（peer）と共に、各自の学習を続けるコースです。

<集中講義（両グループ同内容、どちらか一つのグループに参加）>

場所：札幌キャンパス 北図書館

土曜グループ：2022年7月30日（土）/8月6日（土）、両日とも、12：00-16：30

月曜グループ：2022年8月1日（月）/8月8日（月）、両日とも、12：00-16：30

内容：目標設定と達成、習慣形成、言語習得のしくみ、必要な英語スキル、国際英語について、学習ストラテジーなど

<注意事項>

- 1) 集中講義の受講は必須です。土曜グループか月曜グループの1つを選び、以下の参加申し込みフォームを記入してください。両グループを1日ずつまたがるような日程での受講はできません。両グループとも日程的に参加可能な場合、両方ともチェックしてください。当方でそのうち1つのグループに決めて通知します。
- 2) 集中講義の部分的参加（遅刻、早退、欠席）は認められません。2日間の集中講義の全てを受講した人だけを登録し、その後半年間、peer-support session（月1回、土曜日、参加自由）で、学習支援を行います。
- 3) 集中講義が部分的参加になってしまった場合は、次の期に新たに集中講義に申し込み、全講義を受講してください。このセミナーは今後、1学期終了時期と2学期終了時期の年2回、実施する予定です。
- 4) 英語試験（TOEIC, TOEFLなど）対策や英会話を扱うクラスではありません。また、外国語の上達には、個人の継続的な学習が不可欠であることを理解した上で、参加してください。
- 5) 単位の付与はありません。

<申し込み（7月11日（月）15：00締め切り）>

定員は各グループ30名程度です。申し込み者多数の場合は、最終学年（所属学部により、4年生または6年生）から優先して参加者を決めます。参加の可否は、申し込み者全員あてに、7月15日（金）までに、メールで通知します。

申し込みフォーム ⇒

[https://docs.google.com/forms/d/](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScFNMIxGG3804i2kPUug8mNhxPCh5Slcppvvm2aYO5)

[e/1FAIpQLScFNMIxGG3804i2kPUug8mNhxPCh5Slcppvvm2aYO5](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScFNMIxGG3804i2kPUug8mNhxPCh5Slcppvvm2aYO5)



担当講師および問い合わせ：

外国語教育センター

山田 悦子（やまだ えつこ）

tge95357@elms.hokudai.ac.jp

～専門横断科目～

データサイエンス・AIに関する科目開講のお知らせ

数理・データサイエンス教育研究センターは、文系・理系の多様な数理・データサイエンス・AI教育のニーズに応えるため、「データ活用入門A」と「データ活用入門B」の2科目を新しく開講します。

履修希望者は、所属学部の履修登録期間にWeb履修登録システムから申し込みください。なお、授業内容の詳細は、Webシラバスでご確認ください。<http://educate.academic.hokudai.ac.jp/syllabus/SYLLABUS.htm>

科目名	専門横断科目（一般科目）：複合領域	対象分野	数理分野・生命分野・社会分野
講義題目	データ活用入門A		
開講時期	集中講義 1学期(夏ターム)		
Keyword	DX、BI、Business Intelligence、データ分析、データマイニング		
授業目標	様々な分野で必要となるデータ活用の基礎から発展的内容をガイダンス的に多方面の学部生に広く講じる。主に文系向けを念頭に、エクセルやBIツール（Business Intelligence tools）等を用いて、具体的なデータ解析の初歩について学ぶ。数式を用いることなく統計量やデータの可視化を行い、データに基づくプレゼンテーション力を身につける。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ✓ Microsoft EXCELを使って、データの可視化や分析を行い、その結果を一般の人にわかるように説明することができる ✓ Microsoft Power BIを使って、データの可視化や分析を行い、その結果を一般の人にわかるように説明することができる 		
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 授業ガイダンス ➢ データサイエンススキル、プロセス ➢ データ分析と演習：Microsoft エクセル（3回程度） ➢ データ分析と演習：Microsoft Power BI（3回程度） 		

科目名	専門横断科目（一般科目）：複合領域	対象分野	数理分野・生命分野・社会分野
講義題目	データ活用入門B		
開講時期	集中講義 1学期(夏ターム)		
Keyword	DX、データ活用、統計、多変量解析、機械学習、データサイエンス、データサイエンティスト、データ分析、データマイニング		
授業目標	文理を問わず、Python等をベースとしたe-教材を元に、データの前処理や基礎的な多変量解析や機械学習の基本を学ぶ。具体的なデータ活用を通して、データ活用の実践力の基礎を体得する。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ✓ データ活用の一連の工程について、その必要性を含めて一般の人にわかるように説明することができる ✓ データ活用に必要となるスキルについて、その必要性を含めて一般の人にわかるように説明することができる ✓ 多変量解析や機械学習を用いて、データ分析を行うことができる 		
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 授業ガイダンス ➢ データ活用スキル、プロセス、機械学習概論 ➢ データ分析環境のセットアップ ➢ データ分析と演習（データの読み込みと加工、分析、結果の評価と解釈 等） ➢ まとめと考察 		

<専門教育プログラムのご案内>

「データ活用入門A」及び「データ活用入門B」は、数理・データサイエンス教育研究センターで実施している専門教育プログラムの構成科目（基礎コース、発展コースどちらの修了要件単位にも算入可能）となっております。プログラムの詳細は、右下のQRコードのウェブサイトからご確認ください。プログラムの修了要件を満たしている場合には、「修了証書」を発行することが可能です。

<お問い合わせ先>

学務部 学務企画課 大学院教育推進室

北12条西7丁目 中央キャンパス総合研究棟2号館1階（イチョウ並木沿い、薬学部の西側にある5階建て）

TEL：011-706-4401 / Eメール：mdsc@academic.hokudai.ac.jp

教育プログラムの詳細や、ラーニング・コモンズで実施するセミナー等の情報は、ウェブサイトをチェックしてください。

<https://www.mdsc.hokudai.ac.jp/>



北海道大学 数理・データサイエンス教育プログラム

1. 数理・データサイエンス教育プログラムの特長

IT革新が進む現代、社会の幅広い分野や業種において、膨大なデータを正しく分析・活用し、課題解決し新しい価値を創造する人材が求められています。データサイエンスとは、端的に言えば、文字どおり《データに関する科学》です。データと言っても、フィールドワークや実験室で得られる実験・観測データから、医療、農畜産、水産、経済、インフラ、観光、スポーツ、教育、人文、行政等で扱う様々な統計データや、ネットショップやSNSの履歴などの身の回りに溢れるありとあらゆるデータを指します。北海道大学のデータサイエンス教育は、このようなデータを正しく読み解く技能と膨大なデータから有益な《価値》を引き出す能力を養成します。

文系・理系を問わず
全学生が対象

様々なデータを適切に扱うことができる素養を有し、実践的なデータを扱うことができる力を養う！

基礎教育から個別指導まで
段階的なプログラム設計

基礎となる科目の履修から個別指導の実践教育プログラムまで、段階的な教育設計！

自主参加できる
セミナー等も開催

教育プログラムの他、気軽に参加して学べるセミナーも随時開催！

2. 数理・データサイエンス教育プログラム

文系・理系を問わず、様々なデータを適切に扱うことができる素養を有し、各自が習得する専門分野において実践的なデータを扱うことができる力を養う教育に取り組みます。本学では、以下の3つのプログラムで構成されています。

【一般教育プログラム】

一般教育プログラムは、主に1年次に履修する「全学教育科目」のうち、データサイエンスの基礎となる「統計学・情報学・数学」に関する科目で構成されています。

本学の一般教育プログラムは、数理・データサイエンス・AIに関する知識や技能を体系的に修得できること等より、文部科学省が定める「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)」の認定を受けており、さらに、独自の工夫や特色のある教育プログラムであることから、「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル) プラス」の認定を受けています(認定の有効期限:令和8年3月31日まで)。

【専門教育プログラム】

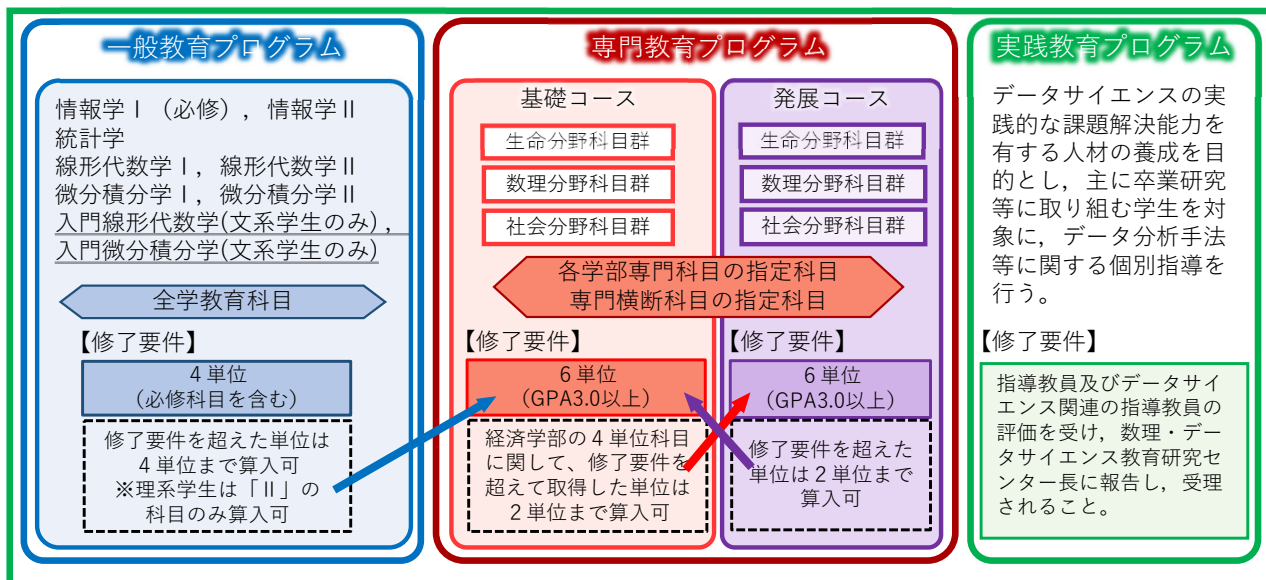
各学部の専門科目のうち、データサイエンス等に関連する科目を抽出する形で構成されており、出口イメージとして3分野【社会・数理・生命】のタグが付いた科目リストを各自がチェックし、興味のある科目を履修する形となります。また、全学部の学生が履修可能な「専門横断科目」として、文系学生等や理系学生で数式が苦手な学生向けの科目も開講します。

プログラムは「基礎コース」と「発展コース」の2つのステップを経る形で構成されています。

【実践教育プログラム】

一般教育プログラム及び専門教育プログラムとは別に独立して開講するプログラムで、主に卒業研究に取り組む学生に対するオーダーメイド型の実践教育です。学生が取り組む卒業研究のテーマの中で、データサイエンスに関する知識やスキルが必要な部分について、データサイエンス指導教員(DS指導教員)が家庭教師のように短期間の個別指導を行うものです。

3. 数理・データサイエンス教育プログラムの履修モデル



学 生 各 位

博物館実習ガイダンスの開催について

標記ガイダンスについて、今年度はオンラインで実施することとしました。下記の通り行いますので、参加希望者は必ず確認してください。

対象者：令和4年度に「博物館実習」の履修を希望する者

内 容：館務実習施設の選び方について

館務実習を行うまでの手続きについて

館務実習を行うにあたっての注意事項 など

※本ガイダンスで指定される手続きを行わなかった場合、
令和4年度の「博物館実習」履修は認めません。

※過去に本ガイダンスへ出席した場合でも、令和4年度に
「博物館実習」の履修を希望する場合、必ず出席すること。

実施方法：下記のURLで1月21日（金）から資料を配付し
ます。資料を確認し、必要な手続きを行ってください。

資料配付URL・QRコード：

<https://drive.google.com/drive/folders/1KYX2FwzohblmA58zHcRtHJ5EzVrdBw84?usp=sharing>



【お問い合わせ先】

文学事務部教務担当：TEL：011-706-3005

E-mail：lkyom@let.hokudai.ac.jp

令和3年12月24日

HSI SDGs Challenge Competition 2021

● 北大生と海外学生へ向けた
オンライン英語プレゼン
コンテストを開催します！

● **THEME :**
**Sustainable
Tourism**

10/31. Sun 13:30~16:00 (JST)

コロナ禍に負けず、SDGsの取り組みにおいて高く評価されている北海道大学を舞台に世界中の学生と多様な意見を交換しましょう！

SDGsに貢献しつつ持続可能な観光とはどのようなものか？

観光業は現在最も重要な産業の1つであり、ここ北海道も世界有数の観光地として発展してきました。しかし、観光業はオーバーツーリズムをはじめ持続的な発展の障害となる問題を多く抱えています。パンデミックで観光業が打撃を受けている今だからこそ、ポストコロナの観光業をより良くするため、SDGsへの貢献という視点から持続可能でグローバルに適応できる新しい観光の在り方を提案して下さい。

北海道のローカルな観光問題をケーススタディとした事前資料を読み、**5分間の英語プレゼンテーション**を作成し、Zoomで発表していただきます。

(事前資料は9月13日より参照可能 <https://1drv.ms/u/s!Al22DaSWjXZBge0v1aYzqvlSaPXDtg?e=EbHDVW>)

対象

北大生とHokkaidoサマー・インスティテュートに参加している留学生

*新渡戸カレッジ学部教育コースの学生には新渡戸カレッジポイントを3ポイント付与します。

部門

- ①チーム：5組(2~4名)
- ②個人：5人

*チームでの応募が叶わない学生には希望者同士での混合チーム結成を支援します。

応募方法

10月3日(日)までに
応募フォームに
回答してください。

<https://forms.office.com/r/8B5j8UKbVD>



COEXISTENCE WITH NATURE



観光客や地元住民の知識不足により自然環境に悪影響が生じています。



IMPACT ON ECONOMY



観光開発による経済利益は、必ずしも地元経済に還元されるとは限りません。



SHIRETOKO



COOPERATION WITH LOCAL COMMUNITY

地元コミュニティに対する理解不足が大きな問題へ発展することも。



NISEKO



HSI SDGs Challenge Competition 2021

Online competition of presentation

THEME : Sustainable Tourism

10/31. Sun 1:30p.m.~4:00p.m. (JST)

Despite the pandemic, exchange your ideas with students around the world in a highly valued university for commitment to the SDGs!

How can tourism be sustainable, while contributing to the SDGs?

Tourism is now one of the most important industries in the world, as you can see here in Hokkaido. However, there have been many different problems with sustainability and tourism since before. To take this opportunity, this competition aims to create new methods of tourism in the post-corona era, which is for one area but globally scalable, from the perspective of contributing to the SDGs.

Participants will give a **5-minute presentation in English** via Zoom, by studying local problems in Hokkaido from the background material.

(Please refer to <https://1drv.ms/u/s!Al22DaSWjXZBge0v1aYzqvlsaPXDtg?e=EbHDYV> from 9/13)

Participants

HSI students,
Hokkaido University students

*NITOBÉ College students from undergraduate course can receive 3 Nitobe College Points.

Category

- ① Team : 5 teams (2~4members)
- ② Individual : 5 people

*We offer a chance to make a team with others for those who want to but cannot.

How to apply

Please fill out the application form by 10/3. Sun.



<https://forms.office.com/r/8B5j8UKbVD>

COEXISTENCE WITH NATURE



There are many cases where the nature is ruined due to lack of knowledge of visitors and local people.



IMPACT ON ECONOMY



There are cases that economic benefits are not given back to local communities.



SHIRETOKO



COOPERATION WITH LOCAL COMUNITY

Sometimes lack of understanding causes conflicts between local community and tourism business.



NISEKO

本学では6月1日からHokkaido Summer Institute 2021が開催されています。

このことに伴い、HSI公認の学生団体が、今年度最後のイベントとして英語スピーチコンテストを企画しました。詳細は以下の通りになりますので、ぜひご参加ください。

こんにちは。Hokkaido Summer Institute(HSI)公認の学生ボランティア団体、HSI Team OMOTENASHIです。

Team OMOTENASHIによる本年度のオンラインイベントの締めくくりとして、「HSI SDGs Challenge Competition 2021」を開催いたします！

【目的】

HSI SDGs Challenge Competition は、昨今の新型コロナウイルス感染症によるパンデミックという状況下でも、北大生と海外学生がその多様な考え方を国際的に交流できる機会を設けることを目的として、HSIと新渡戸カレッジの協力の下、HSI Team OMOTENASHIによって企画されたイベントです。

【イベント概要】

北海道大学は、THEインパクトランキング2021で国内1位にランクインするなど、近年SDGsへの取り組みにおいて世界的に評価されています。このSDGsを軸に、本年度はパンデミックにより大きく影響を受けることとなった観光業を取り上げ、オンラインで英語プレゼンコンテストを行います。本イベントはHSI Team OMOTENASHIが主催し、北海道大学が誇るグローバルプログラムであるHSIと新渡戸カレッジの協力のもと開催されます。HSIに参加する学生と北大生を対象に世界中から参加者を募り、コロナ禍という状況下ではありますが世界中の学生が多様な考え方を共有できる場を提供します。

【コンペティションのテーマ】

<テーマ>

Sustainable Tourism

ーパンデミックをきっかけに考える、SDGsに貢献し得るサステイナブルな観光とはー

<テーマの説明>

観光業は現在世界的に最も重要な産業の1つであり、ここ北海道も世界有数の観光地として発展してきました。しかし、観光業はオーバーツーリズムをはじめ持続的な発展の障害となる問題を多く抱えています。

パンデミックで観光業が打撃を受けている今だからこそ、ポストコロナの観光業をより良いものにするために、SDGsに貢献できる観光という視点から、サステイナブルな観光の在り方を提案していただきます。

【対象】：HSI参加学生、新渡戸カレッジ生、北大生（学部生・院生・留学生）

*新渡戸カレッジ生（学部）の参加者には新渡戸カレッジポイント（3ポイント）を付与します。

【日程】 2021年10月31日（日）13時30分～16時00分（日本時間）

【ルール】

参加者の皆さんには事前資料「How can tourism be sustainable, while contributing to the SDGs?」を読んで、北海道のローカルな観光問題をケーススタディとしつつ、グローバルに適応可能な新しい観光のアイデアを考え、英語による5分間のプレゼンテーションを作成・発表していただきます。

<出場枠>

- ①チーム部門：5組程度（1チーム2～4名）
- ②個人部門：5人程度

*チームでの応募が叶わない学生には希望者同士での混合チーム結成を支援します。

<審査>

多様な分野から審査員をお迎えし、審査・表彰を行います。

<主な審査項目>

- ・SDGsへの貢献度
 - ・アイデアの実現可能性や将来性
 - ・特定の地域だけでなく、世界規模で適用可能なアイデアであるかどうか
- *英語能力による評価はしません。

<その他>

- ・プレゼンテーションの制限時間：5分以内（質問は別で2分間）
- ・本コンペはZoomで実施します。

【主催】 HSI Team OMOTENASHI（HSI公認学生ボランティア団体）
協賛：Hokkaido Summer Institute、新渡戸カレッジ

【申込方法】 10月3日（日）までに下記フォームからお申し込みください。

*人数が多ければ締め切りを早める可能性があります。

<https://forms.office.com/r/8B5j8UKbVD>

【お問い合わせ先】

ご不明な点がございましたら、以下メールアドレスまでご連絡ください。

omotenashi@elms.hokudai.ac.jp

各SNSアカウントのフォローもお待ちしております。

- ・Twitter (https://twitter.com/Team_OMOTENASHI)
 - ・Instagram (https://www.instagram.com/team_omotenashi/)
 - ・Facebook (<https://www.facebook.com/TeamOMOTENASHI/>)
-

Hokkaido Summer Institute 2021 is being held from June 1st at our university.

As this year's final online event, HSI student group is planning a challenge competition. The details are as below, so please join us.

We are HSI Team OMOTENASHI, student volunteers of HSI (Hokkaido Summer Institute).

This year's final online event that we will be holding this October is "HSI SDGs Challenge Competition 2021".

【Purpose】

"The HSI SDGs Challenge Competition" is organized by HSI Team OMOTENASHI in cooperation with HSI and Nitobe College, with the aim of providing an opportunity for Hokkaido University(HU) students and HSI students to exchange their diverse ideas internationally, even in the midst of the recent pandemic.

【Event Overview】

Recently, Hokkaido University has been highly evaluated worldwide for its commitment to the SDGs, being ranked first in Japan in THE Impact Rankings 2021.

Based on these SDGs, this year we will be holding an online English presentation competition focusing on the tourism industry, which has been greatly affected by the pandemic.

This event is organized by HSI Team OMOTENASHI, in cooperation with Hokkaido University's global program, HSI and Nitobe College.

It will be targeted at HSI students and HU students around the world, and will provide an opportunity where students from all over the world can share diverse ideas even under the situation of the pandemic.

【Theme of the Competition】

<Theme>

Sustainable Tourism

~How can tourism be sustainable, while contributing to the SDGs?~

<Explanations>

Tourism is now one of the most important industries in the world, as you can see here in Hokkaido.

However, there have been many different problems with sustainability and tourism since before.

The aim of this competition is to take this opportunity to create new methods of tourism in the post-corona era, which is for one area but also can be globally scalable, from the perspective of contributing to the SDGs.

【Participants】 HSI students, NITOBÉ College students, and Hokkaido University students

*NITOBÉ College students from undergraduate courses can receive 3 NITOBÉ College Points.

【Schedule】 Sunday 31st October 2021 1:30p.m.~4:00p.m.(JST)

【Rules】

Participants will make a 5-minutes presentation in English to propose a new method of tourism which is globally scalable, by studying local problems in Hokkaido from the background material “How can tourism be sustainable, while contributing to the SDGs?”.

<Category>

①Team: 5 teams(2~4members)

②Individual: 5 people

*We offer a chance to make a team with others for those who want to but cannot.

<Judging>

Judges from a variety of fields will be invited to judge and give awards.

< Main judging criteria >

- Contribution to the SDGs
- Reality and future potential of the idea
- Scalability on a global level

*No evaluation will be made based on English ability.

< Others >

- Presentation time limit: within 5 minutes (2 minutes for questions separately)
- The whole competition will be conducted via Zoom.

【Organizer】 HSI Team OMOTENASHI

Sponsor : Hokkaido Summer Institute and Nitobe College

【How to apply】 To participate, please fill out the form shown below by Sunday 3rd October 2021.

*If there are too many applicants, the deadline may be moved earlier.

<https://forms.office.com/r/8B5j8UKbVD>

【Contact Support】

If you have any questions, please contact the email address below.

omotenashi@elms.hokudai.ac.jp

You can also follow us on these SNS accounts, so you don't miss information about further events!

- Twitter (https://twitter.com/Team_OMOTENASHI)
- Instagram (https://www.instagram.com/team_omotenashi/)

- Facebook (<https://www.facebook.com/TeamOMOTENASHI/>)

令和3年度「博物館実習」履修希望者 各位

博物館実習履修希望者に対する 実習直前ガイダンスの開催について

令和3年度に館務実習への参加を希望する学生に対し、実習直前ガイダンス（大学枠施設抽選結果発表）を実施します。

つきましては、館務実習への参加希望者は**必ず**資料を確認願います。

なお、このガイダンスに参加しなかった学生は館務実習を受けることができなくなりますので、ご注意ください。

記

実施方法：ELMS グループからの資料配付・抽選結果発表

資料配付予定日：令和3年4月16日（金）

対象者：令和3年度「博物館実習」を履修予定の全ての者
（実習参加希望者向け Google フォーム登録済の者）

内 容：館務実習参加に際しての注意事項の説明
館務実習施設（大学枠）の調整及び決定 など

その他：令和3年4月に他大学から本学大学院に進学した学生
で、令和3年度「博物館実習」の履修を希望する者
は、必ず令和3年4月12日（月）までに下記へ申し
出ること。

お問い合わせ先：文学事務部教務担当（電話：011-706-3005）

令和3年4月1日

「学芸員」資格取得ガイダンスの 開催について

標記ガイダンスを下記のとおり開催しますので、該当する学生は必ず参加してください。

対象者：令和3年度から新たに「学芸員」資格の取得を希望する者。

開催方法：オンデマンドによる開催
以下の URL もしくは QR コードから、
説明資料をダウンロードしてください。

URL：

<https://drive.google.com/drive/folders/1q3ufHcH0HYh4kxDigDOPshEthE73HTVw?usp=sharing>

QR コード：



内 容：学芸員とは？

学芸員資格の取得方法について

入学年度別カリキュラムの違いについて

授業の履修方法について

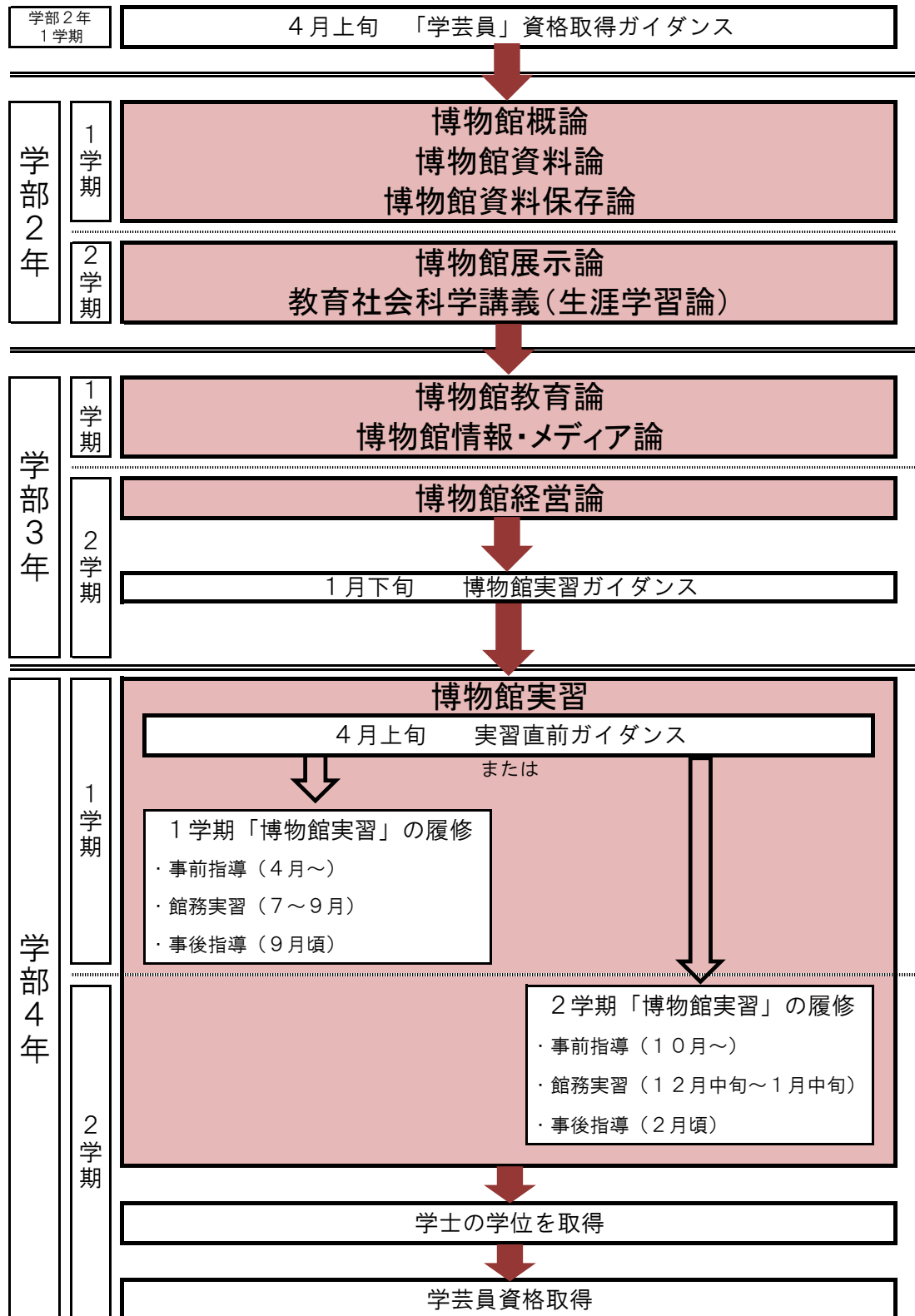
【お問い合わせ先】 文学部教務担当（TEL：011-706-3005）

令和3年3月26日

北海道大学に在学中の学生 各位

学芸員の資格取得に向けたカリキュラム・マップ

学芸員の資格取得に向け、北海道大学の学芸員資格関係の授業担当教員が推奨する履修計画は以下のとおりです。詳細な情報は必ずガイダンスで確認してください。



【資格取得にあたっての注意事項】

- 全てのガイダンスへ出席すること。
- 全ての授業科目の単位を修得すること。
- 学士の学位を取得すること。